BAPCB廃棄物処理事業だより

蒸留塔類の工場検査立会

PCBの入った高圧トランスや高圧コンデンサを処理する手順としては、始めにこれらの機器からPCBが含 まれる油を抜き取ります。その後機器本体を解体し、部材毎に分別して、溶剤で洗浄し付着するPCBを取り 除きます。洗浄に使用した溶剤にはPCBが含まれていますので、蒸留塔内で洗浄溶剤を蒸留することによ りPCBを分離します。これらの過程で抽出されたPCBは、全て液処理施設に集められ化学処理を行い無害 化していきます。

豊田施設では8基の蒸留塔を設置し、使用済み洗浄溶剤や排気の無害化処理から出るオイルからPCBを 分離し、洗浄溶剤やオイルを再利用するために各種の蒸留処理を行っていきます。

これらの蒸留塔の製品検査を8月末から約1週間をかけて千葉県白井市の製作工場で行い、日本環境安 全事業株式会社(JESCO)職員も9月3日に立ち会いました。





溶剤除去塔

真空加熱分離装置の工場検査立会

上記のように、PCBを抜き取った機器は部材毎に解体分別して洗浄しますが、PCBが中に染み込んでし まった紙(コンデンサ素子)や木(トランスコアの固定材)や布(ウエス)等については、洗浄した後更に真空 加熱分離装置でPCBを分離します。

豊田施設ではこの真空加熱分離装置を4基設置しますので、装置の機能検査を9月28日に埼玉県川口 市にある製作工場で実施しました。





直空加熱炉と周辺機器

平成16年度第2回東海地区広域協議会が開催されました

8月24日に、「平成16年度第2回豊田PCB廃棄物処理事業に係る東海地区広域協議会」が愛知県庁で 開催され、愛知県をはじめとして、岐阜県、三重県、静岡県と保健所設置市である名古屋市、豊田市、豊橋 市、岡崎市、岐阜市、静岡市、浜松市が出席され、オブザーバーとして環境省、特別会員のJESCOが参加 しました。

今回の協議会では、東海地区におけるPCB廃棄物保管事業者等への指導方針、環境省が制定した「P CB廃棄物収集・運搬ガイドライン」をベースにした収集運搬事業者への指導方針が検討されました。 JESCOからは、豊田事業における受入計画(案)、受入基準(案)、入門を許可する収集運搬事業者に係 る認定要綱(案)を説明し、これらの素案について各自治体からのご意見を伺いました。

PCB廃棄物処理料金の公表

9月17日に、JESCOで処理するPCB廃棄物の処理料金(全国一律料金)を公表しました。 併せて、中小企業等の方々が保管するPCB廃棄物の処理負担軽減の概要と、JESCOが実施する早期 登録・調整協力割引料金の制度概要も公表しました。

これら公表の詳細な内容は、JESCOのホームページ(http://www.jesconet.co.jp/)をご覧いただくか、豊田事業所(ILO565-37-7226)にお問合わせ下さい。

工事の状況 蒸留塔を設置、1~3階鉄骨を建て始める





建築鉄骨建方状況

9月10~12日に蒸留塔類8塔のうちの6塔を搬入し、据え付けました。最も大きい第1と第2蒸留塔は、直径が約2.6m 長さが約22mで、重さが約20tあります。現場へは専用のトレーラーで早朝4時頃に搬入し、2台の大型クレーンにて吊り上げ、所定の場所に据付を完了しました。

また、9月15日から建築鉄骨の建方工事を開始しました。 鉄骨は4階の床の高さまでを一度に組み上げます。10月中旬 には鉄骨建方作業の第1期分を完了し、4階の床コンクリート を打設した後、4階の機械設備の据え付けを行っていきます。



蒸留塔据付状況

今月の工事予定

10月初旬~ 処理棟:鉄骨建方(第1期分)、4階床 鉄筋組立·コンクリート打設

管理棟:1階床 鉄筋組立・コンクリート打設

10月中旬~ 処理棟:4階床 鉄筋組立・コンクリート打設、4階プラント機器据付

施工者から一言

9月は、処理棟1階に設置する前処理設備の解体ライン機器や蒸留塔の据付を完了し、15日より建築鉄骨建方を開始しました。また、管理棟の基礎工事も完了しました。工事は、早朝6時よりプラント機器を搬入し、建築資材との搬入車両の調整を行い、通勤時間帯での周辺道路に影響がでないよう進めております。10月は建築鉄骨工事の第1期分が完了し、建物の全景が徐々に姿を現しつつあります。今後の工事は、高所作業や同時に進行する作業が多くなるので、今まで以上に気を引き締めて安全にかつ慎重に進めてまいります。

クボタ神鋼環境(豊田)異工種建設工事共同企業体

代表者: 株式会社クボタ

構成員: 株式会社神鋼環境ソリューション

連絡先

日本環境安全事業株式会社(JESCO) (連絡先) 豊田事業所

0565-37-7226